



令和3年度 学校だより

はがきた

第9号 令和3年12月24日

教育目標

集中して学び、生命と人権を守り、生きる力の基礎を身に付けた子どもを育成する。
『学ぶ子 守る子 がんばる子』

2学期お世話になりました！

冬至を過ぎ、今年もあとわずかとなって参りました。保護者の皆様には御健勝のことと思います。長いと思っていた2学期がもうすぐ終わります。今学期には様々な行事があり、児童の活躍はとても素晴らしく感動のあるものでした。それとともに児童の成長には目を見張るものがありました。2学期が始まった頃は、新型コロナウイルス感染症の第5波真っ只中で、正直なところ、とても不安でした。結果的に一人の感染者も出さず教育活動を続けてこられたことは、児童の努力とともに保護者・地域の皆様の御協力のお陰であると深く感謝しております。このまま収束してほしいと願うばかりです。

昨年にもましてコロナ感染症に翻弄された感のある令和3年。来年こそ安心して生活できる日々が訪れることを強く願い、令和3年、そして2学期を締めくくりたいと思います。御理解、御協力たいへんありがとうございました。



修学旅行に行ってきました!!

12月2日(木)、3日(金)の2日間、6年生と一緒に福島県に修学旅行に行ってきました。福島県会津地方では、前日の夜から雪が降り出し、2日までになんと30cm積もりました。そのため、見学の順番を変えて全ての見学地を回りました。6年生は、慣れない土地でしたが、学校生活で身につけた経験を基に、みんなで考え、みんなで教え合い、みんなで学び合うことができていました。2日目のいわき市では風が強く、大揺れの遊覧船に乗るなど、忘れることのない旅行になったのではないのでしょうか。



校内持久走大会

自分の限界に挑戦! とても素晴らしいです!!

12月1日(水)に校内持久走大会が行われました。児童のみなさんは、それぞれが一生懸命に走っていて、とても感動しました。各学年、3位まで発表します。(敬称略)

	1年男子	1年女子	2年男子	2年女子	3年男子	3年女子
1位	福田 己道	鳴海 希咲	齋藤 聖亜	岡田 光	松榮 陽之	小堀 朱璃
2位	黒崎 結心	松榮 英佳	菅俣 陸斗	小林 愛奈	小池 龍希	小淵 虹子
3位	小山田 壮真	本田 深雪	落合 飛和	穂山 桜	藤田 晶斗	白井 美夢
	4年男子	4年女子	5年男子	5年女子	6年男子	6年女子
1位	小川 慶翔	田中 千聖	平塚 悠伸	黒須 美怜	阿久津 昂雅	加藤 美海
2位	飯野 颯真	見目 彩優美	阿久津 祐翔	島田 結衣	小野 寺結士	森島 百香
3位	小林 颯史朗	高橋 陽実	加藤 悠吾	半田 那奈	穂山 環	尾崎 千歳

1月の主な行事予定

- | | | |
|-------------------------------------|--|--|
| 1(土) 元日 | | 18(火) 教職員による読み聞かせ |
| 9(日) 芳賀町成人式 | | 19(水) 大縄跳び大会 |
| 10(月) 成人の日 | | 20(木) 芳賀地区理科研究展覧会(～24)
(22, 23の土日は一般公開) |
| 11(火) 3学期始業式 | | 21(金) 巡回相談 |
| 12(水) 委員会⑦ 北小タイム
(キッズタイム:大縄跳び練習) | | 25(火) 芳賀中学校入学説明会 |
| 17(月) 時間割D開始
PTA防パト委バス乗車指導⑤ | | 26(水) クラブ⑦ |
| | | 28(金) 6年思春期教室 |



☆児童たちの活躍・学校生活の様子☆

【修学旅行】(6年)



【校内持久走大会】



【盲導犬体験】(4年)



【ICT活用授業】



1年の計は元旦にあり

「1年の計は元旦にあり」という言葉を御存じのことと思います。計は計画のこと、1年の計画は元旦に立てるべきという意味で、このことから、事に当たっては最初にしっかりと計画を立ててから臨むことが大切だという意味ももっています。

この言葉の由来としてあげられるのは、中国の明の時代に憑慶京という学者によって表された書物「月令広義」です。この書物には中国の伝統的な年中行事やしきたりが解説されており、その中に、「一日(いちじつ)の計は晨(あした)にあり、一年の計は春にあり」と記載されているそうです。晨は朝、春は正月を意味していて、全体では、1日の初めである朝や1年の初めである正月にこそ計画を立てるべきである、という戒めになっています。また、この言葉の後には、「一生の計は勤にあり、一家の計は身にあり」と続きます。つまり、初頭に計画を立てることで日々の充実度が決まり、勤勉に働くことで一生が決まり、健康維持によって一家の行く末が決まるという意味合いになります。この中の「一日の計」「一年の計」「一生の計」「一家の計」を合わせて「四計」といい、よき人生の設計に欠かせない大切な計画とされているものだそうです。

「一年の計は元旦にあり」のもう一つの由来として、毛利元就が語ったとされている「一年の計は春にあり、一月の計は朔(ついたち)にあり、一日の計は鶏鳴(けいめい)にあり」があります。朔は月初めの日、鶏鳴は一番鶏が鳴く早朝のことです。1年、1月、1日それぞれの最初るときこそが計画を立てるべきときであるということ

を言ったもので、**何事も最初が肝心**であるという戒めを意味しています。この計画には「今年こそは」という願いも込めて年初めに新しいことを始めるケースが多く見られますが、1年の途中で立ち消えになってしまうことがあります。しかし、無計画のまま過ごす1年は何もしないうちに過ぎてしまうことが多く、それが積み重なっていくと無為な一生となってしまいます。

「一年の計は元旦にあり」はものごとの初めに計画を立てることを勧める言葉ですが、今がこれからの人生の初めと考えれば、いくらでも仕切り直しはできそうです。これから迎える令和4年。いろいろな願いを込めて、1月1日に計画を考えてみてはどうでしょうか。「今年こそ」ですから。

「一年の計は元旦にあり」はものごとの初めに計画を立てることを勧める言葉ですが、今がこれからの人生の初めと考えれば、いくらでも仕切り直しはできそうです。これから迎える令和4年。いろいろな願いを込めて、1月1日に計画を考えてみてはどうでしょうか。「今年こそ」ですから。



※芳賀北小ホームページでは、カラーで学校だよりを掲載しています。ぜひ御覧ください。